

17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

(1) 給食の食べ残し量

	学 期	令和4年度		令和5年度	
		全体	1人当たり	全体	1人当たり
小学校	1学期	22,007.8kg	約2.02kg	25,674.8kg	約2.45kg
	2学期	27,133.5kg	約2.49kg	31,012.3kg	約2.96kg
	3学期	13,792.7kg	約1.27kg	16,181.0kg	約1.54kg
中学校	1学期	23,634.2kg	約4.16kg	17,505.2kg	約3.13kg
	2学期	25,484.7kg	約4.48kg	20,826.7kg	約3.72kg
	3学期	10,936.7kg	約1.92kg	9,002.7kg	約1.61kg

(2) 食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、子どもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立を残しがちである傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任教諭による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。